

一口メモ ②

「国勢調査」は、なぜ10月1日？

平成22年10月1日には国勢調査が実施されました。

今回の調査票の提出方法については、個人情報保護意識への配慮、昼間不在世帯の増加等に対応するため、調査書類収納封筒に封をして提出する封入提出方式を導入し、世帯は調査員への提出、郵送提出のいずれかを選択することができるようになりました。

また、東京都では、インターネットによる回答方式が導入されました。

国勢調査の調査期日は、大正9年の第1回調査から10月1日に実施されています。

なぜでしょう。理由を平成17年に総務省統計局が発行した「解説 国勢調査」から引用します。

第1回国勢調査の報告書によると「まず、年末、年始は、従来常に本籍人口又は現住人口の調査時期であることから比較上便宜であり、また年齢計算も容易で好都合ではあるが、諸取引の決算、年賀の風習等があり、積雪が深く、実査の時期としては不適當である。次に夏期は炎熱が激しく、この時期もまた不適當である。したがって、春又は秋に調査期日を求めざるを得ない。しかしながら春は旅行、遊山するものが多く、人口分布の状態を失っている。以上のことから、比較的人口の分布が常態であり、人々の職業的活動が盛んであり、全人口の大半を占める農業従事者にとっては、かならずしも農繁期ではなく、かつ1年の4分の3を経過した10月1日をもって、最も適當な調査の期日と決めた」となっています。

世界各国で国勢調査が実施されます。

世界各国で、2010年ラウンド世界人口・住宅センサスの一環として、国勢調査が始まっています。例えば、アメリカ合衆国では、2010年4月1日現在で調査が実施され、また、中国では2010年11月1日に予定されています。ヨーロッパでは、多くの国で2011年に実施される予定です。（統計局ホームページより）